デキャラク <i>を</i>	9-名=						—	- プレ	イヤー	名 ——			- F	スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ	
														ワーディング	*	-	オート	視界	シーン	自動	-		
													効果	! :			非オー	ヴァード	カエキスト	ラ化			
シンドローム エンジェルハィロ				\ィロ	ウ	ワーク	را ک ا	レネゲイドビーインク		グΒ カ ウ	ブァー しご	SN支部長		リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100		
		Ŧ.	ルフェ	ウス						_			効果	! :			=]スト分の	HPで復活				
オプショナル					年齢	i			1	ŧ別 💮]	ニューマンズネイバー	1		オート							
覚醒	覚醒				衝動	1	劯	破壊		初期侵	食率	33	効果										
山山	山台		421			,				2 <i>60</i> 7 2	E			オリジン:プラント	4		オート						
出自				経験						邂	<u>a</u>			<u> </u>	T -	1							
	基本	随	ワーク	スボ・	ーナス	ス 成	長	他修:	正 信	能力値	HP	23	1 -	セントレイト:エンジェルハイロゥ -	2								
肉体	1	1	0		0					1	行動値	13	効果			1							
感覚	5	5	1		0					6	(非装備時	13	1	リフレックス	2								
精神	1	1	0		0					1	戦闘移動	t 18	効果		1		ロマカション						
社会	1	l	0		0					1	全力移動	j 36] _{効果}	神の目	1		リアクション						
肉体 感覚 精神											社			<u>・</u> 小さな塵	1		メジャー						
技能	AJ#¥ SL	修正	124	能	晃 SL	修正	烘	能		修正	 技能	云 SL 修正	】 効果			<u> </u>							
白兵	1	سرحار		撃	1	בעפיו		С		151L		2- IST		<u>・</u> マスヴィジョン	3		メジャー						
回避	+ •			' <u>手</u>]覚	3			<u></u> 志	1			1	 効果				<i>/</i> / <i>/</i> / <i>/</i>						
運転:			芸術:	170						-	ーロラベー 青報:UGN	2		 ハンドレッドガンズ	1		マイナー						
運転:			芸術:				知識:				青報:		対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対				, , ,						
運転:			芸術:				知識:			-	青報:		11	 七色の直感	*								
運転:			芸術:				知識:			1	青報:		効果	Į:									
運転:			芸術:				知識:			1	青報:												
. 22	コンボ	.	能力 命中値		i (/	G値 攻撃:		力射程			メモ		_ 効果	! :									
正/49.	武器・コンボ			0 0	<u> </u>	世 火	E/J 3	/ 331 (至			<u> </u>												
													効果	<u> </u>									
													┧╟										
													効果	! :									
	_												-										
197	具		価格	装甲	四:	避行	動			>	₹ E		効果	{									
) j-	うーん、今のところは新米の支部長で気弱で前任と部下からの圧で参っているというのを考えました それでそのストレスが戦闘の時に爆発する(戦闘用人格)									
								·≡∔¼±⊓	н ·	0	수라디땨	: 0	段「	段「ヒェェー・もう嫌だぁ」									
	所持品											. 0		戦闘「あーはははハーァ!メチャメチャにしてやラァ!!!」 木田「ここの支部は任せる。しばらくは私も執務の補佐を行おう。」									
ロイス										FL	漂う威圧感 「ヒェっ、き、木田さん自ら…きき恐縮ですすす」												
							対象 感情(pos) 感情(neg) タイ 消費					スノウ「あぁ、貴方が新しい支部長ですね。私は副支部長のスノウ。慣れない事もあるでしょうけど、出来る限りの補佐はします。」(ニコヤカ)											
							Ě	戦闘用人格 P N					「は、はい。ヨロシクオネガシマス…」 「そんなに畏まらなくても大丈夫ですよ。私は貴方の部下なのですから、ちゃんと上から接してくだされば」(ニコニコ)										
						P N						「さもないとスグに取って代わられちゃいますよ?」(耳元で囁きながら) 「なんて、冗談ですけどね~!」(笑顔に戻る)											
			_					P N						ィィイッ!」パタン(気絶)	20.00								
			-					ı ıv						 今、木田元支部長の同期だったが、ずっと才覚も人望も敵わなくてコンプレックスをずっと持ってるという考えが思い浮かんだ									
			+					P N P N						何らかのコンプレックスが無いとここまで卑屈にならないかなーって思って、どうせなら木田支部長に関連づけるか!と思って ずっと自分の一歩先をいく木田さんを追いかけ続けて、ずっと比べられて、自分は無能だと卑屈になっている									
			+			P N					でも	でも実はそこそこ優秀である、みたいな そんなに卑屈になる必要は無いのに、木田さんと比べる事でダメだと思い込んでる											
																		~10 C.Ø					
-			+					最大財産P: 4 残り財産P:					かぁなら、木田さんの噂 田さんの裏設定	や裏話	も知ってるた	いもしれんね。							
							20 V3/21																